

薬用作物産地支援 栽培技術研修 北海道会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 千歳アルカディア・プラザ 多目的ホール(千歳市柏台南1丁目3-1)

実施時期： 10月1日(木)～2日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
10月1日 (木)	13:00- 13:20 (20分)	12:50現地集合 場所：南千歳駅(JR北海 道 千歳線) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:30- 15:10 (100分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「JA道央」の附子(ぶし:トリカブト)の 収穫時期の現地研修を通じて、薬用 作物の特徴、収穫後の調製技術等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	巢守 秀明 菊地 原	道央農業共同組合 千歳営農センター青果園芸課 青果園芸係 係長 株式会社夕張ツムラ 栽培管理部長
	15:20- 15:40 (20分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:00- 17:00 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に向けた実需者側の取り組みについて解説する。	小柳 裕和	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班班長
10月2日 (金)	9:00-10:30 (90分)	[講義] 薬用作物の栽培技術について(仮題)	地域の生産者からの要望の高い栽培技術について解説する(カンゾウ、シャクヤク、ハトムギ等)	五十嵐 元子	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター北海道研究部 主任研究員
	10:40- 12:10 (90分)	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み(仮題)	高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究のうち、北海道におけるトウキ、カンゾウについてのこれまでの成果について解説する。	村上 則幸 横田 聡 斎野 智記	農研機構北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域長 農研機構本部管理本部 技術支援部 北海道技術支援センター 北海道第3業務科長 株式会社夕張ツムラ 生薬栽培部長
	12:10- 13:10	昼休み			
	13:10- 14:40 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	